

一般財団法人建設業振興基金  
理事長 内田俊一 殿

■連携体名	連携体		
■事業管理者	<p>※該当する項目にチェックを入れて下さい。</p> <input checked="" type="checkbox"/> 連携体を代表する企業 <input type="checkbox"/> 法人格を有する連携体 (既存の事業協同組合、協業組合等) <p>※事業管理者は「連携体の構成員のうち代表となる建設企業、建設関連業」又は「法人格を有する連携体(既存の事業協同組合、協業組合等)」のいずれかを設定することができます。</p>		
	ふりがな	かぶしがいいしや	代表者役職 代表取締役
	法人名	株式会社	ふりがな
		代表者氏名	印

「地域建設産業活性化支援事業」における  
ステップアップ支援申請書

「地域建設産業活性化支援事業」におけるステップアップ支援を受けたいため、必要書類を添付の上、申請事業について支援を申請します。

また、以下の事項について確約し、確約が虚偽、またはこれに反したことにより、不利益を被ることになっても異議は一切申し立てません。

【確約事項】

以下5項目について、確約事項を確認の上、チェックマークを入れて下さい。

- 1. 当連携体は反社会勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。なお、具体的な確約事項は別紙1の通りです。
- 2. 当連携体は本事業に関連しての訴訟による係争はなく事業運営に支障のないことを確約します。
- 3. 当連携体は本事業に関連した法令違反による処罰を受けておらず事業運営に支障のないことを確約します。
- 4. 当連携体は本事業の支援申請により、損害等が生じて、国土交通省、(一財)建設業振興基金、活性化支援アドバイザー等の関係者には一切責任がなく、異議を申し立てないことを確約します。
- 5. 当連携体は、加入すべき雇用保険、健康保険、年金保険に適切に加入していることを確約します。

【添付書類】

添付書類について確認の上、チェックマークを入れて下さい。

- 1. 「地域建設産業活性化支援事業」におけるステップアップ申請書(本書)
- 2. 暴力団排除に関する確約事項(別紙1)
- 3. 連携体の概要(様式1)
- 4. 応募事業について(様式2、別紙2)
- 5. 資金計画について(様式3)
- 6. パートナー機関推薦書(様式4)
- 7. 覚書
- 8. 決算報告書又は財務諸表(写し、直近1期分)
- 9. 労働保険 概算・増加概算・確定保険料申告書(写し)
- 10. 領収済通知書【雇用保険】(写し)
- 11. 領収証書(健康保険・年金保険)もしくは社会保険料納入証明書(写し)
- 12. 会社案内、その他資料等(無ければ不要)

注1) 上記7. は別添の作成例を参考に作成してください。

注2) 上記8. 9. 10. 11. は全構成員分それぞれ提出してください。

注3) 「法人格を有する連携体(既存の事業協同組合、協業組合等)」が単体で応募し、かつ取り組み主体がその法人以外ない場合に限り、上記8. はその法人のみ提出してください。

なお、9. 10. 11. は提出不要です。

### 暴力団排除に関する確約事項

当連携体は、下記のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても異議は一切申し立てません。

以上のことについて、この申請書の提出をもって確約します。

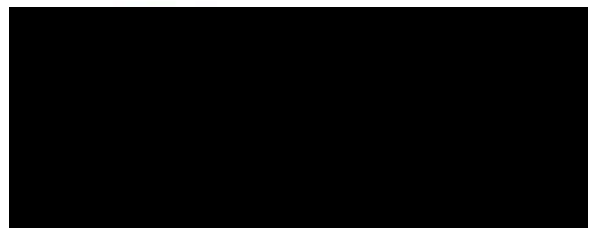
#### 記

1 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。

2 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている。

3 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している。

4 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している。



### 暴力団排除に関する確約事項

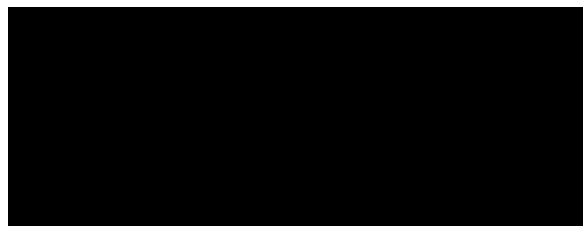
当連携体は、下記のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても異議は一切申し立てません。

以上のことについて、この申請書の提出をもって確約します。

#### 記

- 1 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。
- 2 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている。
- 3 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している。
- 4 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している。



### 暴力団排除に関する確約事項

当連携体は、下記のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても異議は一切申し立てません。

以上のことについて、この申請書の提出をもって確約します。

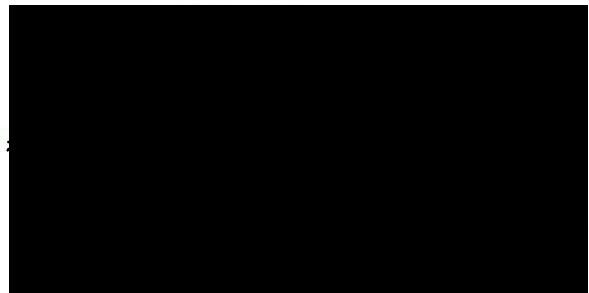
#### 記

1 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。

2 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている。

3 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している。

4 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している。



## 連携体の概要

● 連携体名：  連携体● 構成員総数：  (うち建設企業  社)平成 27 年  月  日現在

構成員① (事業管理者)					
ふりがな 法人名	かぶしきがいしゃ <input type="text"/>				
	株式会社 <input type="text"/>				
住 所	〒 <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
	<input type="text"/>				
代表者氏名	<input type="text"/>				
業種・業態	建設業				
主な事業	土木・建築工事業	売上高 (直近期末)	<input type="text"/> 円	全売上高に 対する比率	98 %
	不動産事業	売上高 (直近期末)	<input type="text"/> 円	全売上高に 対する比率	2 %
主な事業	—	売上高 (直近期末)	— 円	全売上高に 対する比率	— %
設立年月日	昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	従業員数	20	名	
建設許可業種	土木工事業ほか	資本金等	<input type="text"/>	円	
雇用保険	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
医療保険 (健康保険)	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
年金保険	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
連携体における役割	<p>・ <input type="text"/> の幹事会社として、<input type="text"/> 組織の運営や解散に関わる重要事項を決定する。</p> <p>・ 主幹事会社に設置される事務局の業務(入会・退会手続き、勉強会・プレゼンなどの企画・運営、ホームページ・ <input type="text"/> だよりの作成・管理・発行)を補佐する。</p> <p>・ 本事業における「事業管理者」の役割を担う。</p> <p>・ 本事業における「三次元測量」分野にて中心的な役割を担う。</p>				
担当者	所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>	
	氏名	<input type="text"/>	E-mail	<input type="text"/>	
	TEL	<input type="text"/>	FAX	<input type="text"/>	

## 連携体の概要

● 連携体名:  連携体● 構成員総数:  (うち建設企業  社)平成 27 年  月  日現在

構成員②					
ふりがな 法人名	かぶしきがいしゃ <input type="text"/>				
	株式会社 <input type="text"/>				
住 所	〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
	<input type="text"/>				
代表者氏名	<input type="text"/>				
業種・業態	建設業				
主な事業	土木工事業	売上高 (直近期末)	<input type="text"/> 円	全売上高に 対する比率	100 %
主な事業	-	売上高 (直近期末)	- 円	全売上高に 対する比率	- %
主な事業	-	売上高 (直近期末)	- 円	全売上高に 対する比率	- %
設立年月日	昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	従業員数	13	名	
建設許可業種	土木工事業ほか	資本金等	<input type="text"/>	円	
雇用保険	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
医療保険 (健康保険)	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
年金保険	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
連携体における役割	<p>・ <input type="text"/> の主幹事会社として、<input type="text"/> 組織の運営や解散に関わる重要事項を決定する。</p> <p>・ 主幹事会社に設置される事務局の業務(入会・退会手続き、勉強会・プレゼンなどの企画・運営、ホームページ・<input type="text"/> だよりの作成・管理・発行)を行う。</p> <p>・ 本事業における「マルチコプターによる空撮測量」分野にて中心的な役割を担う。</p>				
担当者	所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>	
	氏名	<input type="text"/>	E-mail	<input type="text"/>	
	TEL	<input type="text"/>	FAX	<input type="text"/>	

## 連携体の概要

● 連携体名：  連携体● 構成員総数：  3 (うち建設企業  3 社)平成 27 年  6 月  15 日現在

構成員③					
ふりがな 法人名	ゆうげんがいしゃ <input type="text"/>				
	有限会社 <input type="text"/>				
住 所	〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
	<input type="text"/>				
代表者氏名	<input type="text"/>				
業種・業態	建設業				
主な事業	土木工事業	売上高 (直近期末)	<input type="text"/> 円	全売上高に 対する比率	60 %
	<input type="text"/> (兼業工事)	売上高 (直近期末)	<input type="text"/> 円	全売上高に 対する比率	23 %
主な事業	地盤改良工事	売上高 (直近期末)	<input type="text"/> 円	全売上高に 対する比率	17 %
設立年月日	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	従業員数	50	名	
建設許可業種	土木工事業ほか	資本金等	<input type="text"/>	円	
雇用保険	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
医療保険 (健康保険)	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
年金保険	加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 適用除外			
連携体における役割	<p>・ <input type="text"/> の幹事会社として、<input type="text"/> 組織の運営や解散に関わる重要事項を決定する。</p> <p>・ 主幹事会社に設置される事務局の業務(入会・退会手続き、勉強会・プレゼンなどの企画・運営、ホームページ・<input type="text"/> だよりの作成・管理・発行)を補佐する。</p> <p>・ 本事業における「新資材：<input type="text"/>」分野にて中心的な役割を担う。</p>				
担当者	所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>	
	氏名	<input type="text"/>	E-mail	<input type="text"/>	
	TEL	<input type="text"/>	FAX	<input type="text"/>	

## 応募事業について

●連携体名:  連携体

## 1. 応募事業分野

※該当する項目にチェックを入れてください。

 担い手確保・育成 生産性向上

## 2. 応募事業名

※内容を端的に表す題名としてください。(1行以内)

 を活用した土木施工の生産性向上

## 3. 事業の内容

※事業の内容や事業スキームについて、具体的に記入してください。

※支援の目標、課題、スケジュールを別紙2に記入してください。

## 【1.情報化施工、新技術】

マルチコンピュータによる空撮測量および3次元測量を行い、それらの測量データを組み合わせ、3次元プリンターにより模型を作成する。模型化することによって、正確な立体形状が把握できるため、施工時間や資材量を正確に算出することが可能となり、生産性の向上に役立てることが可能となる。

## 【2.新資材】

施工段階では  の新資材を利用して、水分を含んだ軟弱土を固形化して良質土にする取組を行う。

## 【3.中小企業の広域ネットワーク化】

を組織し、管理・運営する。ネットワーク化により土木市場における存在感を高め、新技術等の情報収集・共有を容易にし、技術力UPによる生産性向上を図る。

## 【4.繁閑調整】

受注の繁閑を調整する取組を実施する。

## 【5.人材交流】

技能・技術者の資格取得等、能力拡大に資する教育を実施する。

## 【6.資材等の共同購入・在庫調整】

資材等の共同購入や在庫の調整の取組を実施する。



# 「事業の内容」補足説明

## 1. 情報化施工、新技術

### (1) マルチコプターによる空撮測量について

マルチコプターによる空撮測量は、人が立ち入れない高架橋下面や土砂災害現場などの調査を行う新技術として、昨今急速に注目を集めている。

マルチコプターによる空撮測量は、測量技術が得意な分野である。

平成27年6月4日に国土交通省において、マルチコプターによる空撮測量の技術に関するセミナーを開催し、測量技術の活用について説明した。

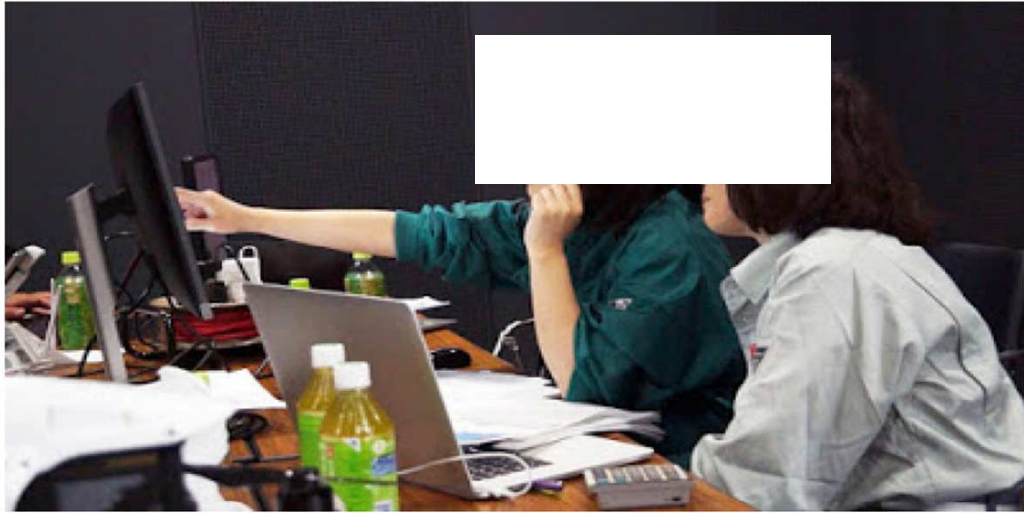


(1) (にて)



(土木学会facebookページより)

<解析の状況>



(建設通信新聞 公式記事ブログ :

マルチコプターによる空撮測量は今後益々の需要が見込めることから、幹事会社が連携し、上記技術の勉強会を開催することで、幹事会社連携体3社がスムーズにマルチコプターによる空撮測量を導入できるようにし、生産性の向上を図る。

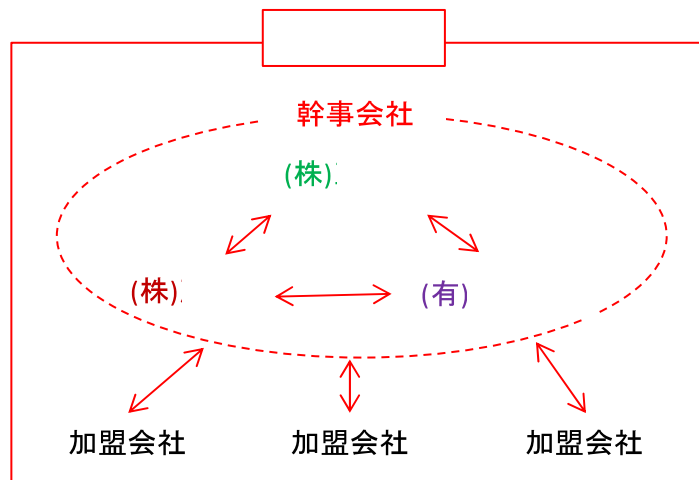


図 〇の情報共有 ※将来的に加盟会社との情報共有を図る

## (2) 三次元測量について

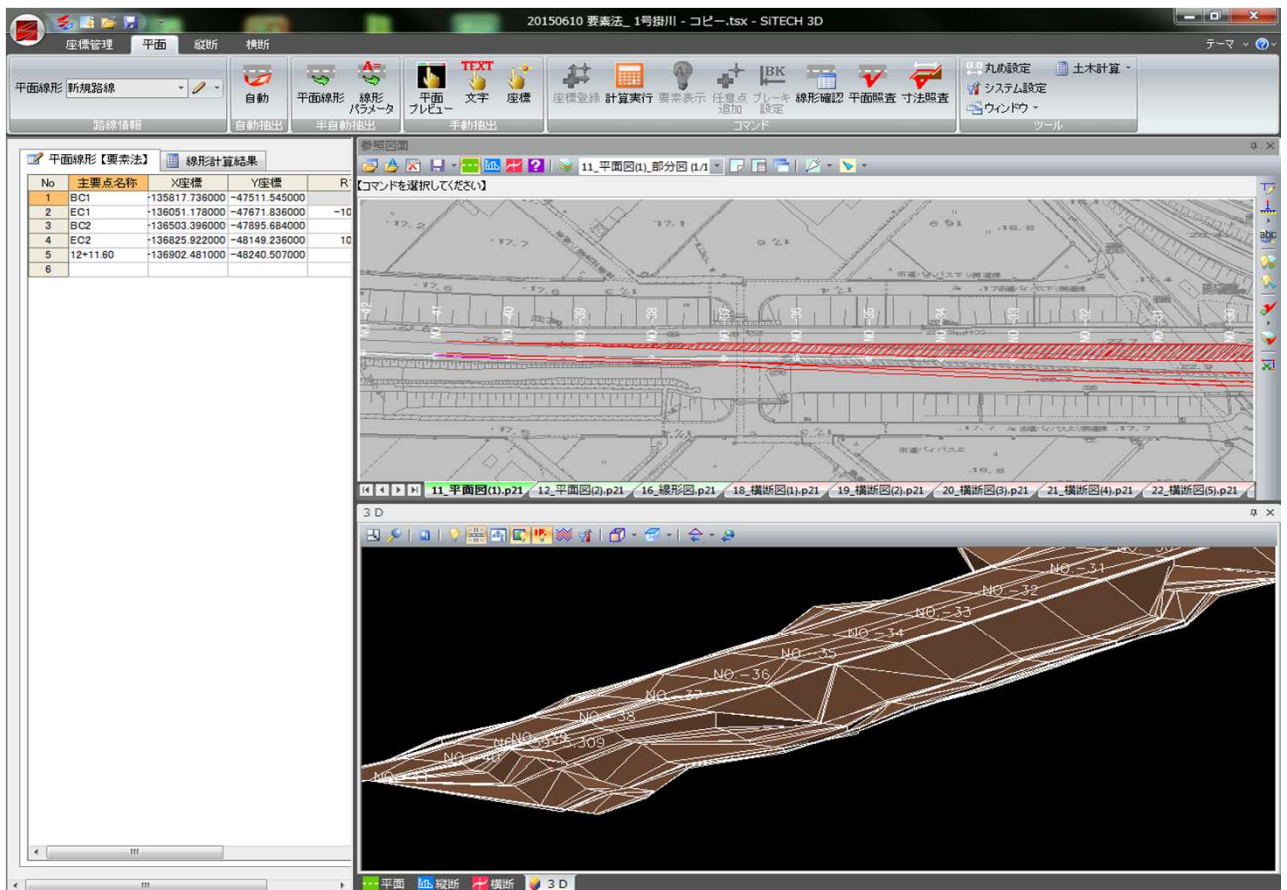
「三次元測量」は、(株) . が得意な分野である。

(株)建設システムの土木施工用測量ソフト「現場大将-情報化施工 (TS出来形) サポートツール」やCIMを見据えた3次元設計データによる次世代施工管理ソフト「SITECH3D」を導入。紙ベースや2次元のCADデータから『3次元設計データ』の作成を行っている。



(建設システムホームページより)

< によって作成した『3次元設計データ』の例 >



『三次元設計データ』は、TS出来形対応の現場ICT端末「モバイルデキスパートLanDeco for TS」に転送。『三次元設計データ』の現地への再現を可能としたことで、着工前測量から路線・丁張・杭の設置や出来形測定、帳票入力作業などの大幅な省力化に成功している。



## LanDeco for TS<sup>3</sup>つの魅力 施工管理機能を豊富に搭載

着工前測量から路線設置・丁張設置・杭設置など、測設作業に関する機能を豊富に搭載。事前準備や計算などが不要になるので、どこでも測量が実現します。



今後、まずは、  
上が連携し、上記技術の勉強会を開催することで、  
連携体3社がスムーズに情報化施工を導入できるようにし、生産性の向上を図る。  
上



情報化施工に使用する機器類の進化は日進月歩である。近年では、「自動追尾型」のトータルステーションが普及しつつある。

また、工事現場における安全教育や一般住民への工事説明など、三次元モデルやCIMを利用した高品質なレンダリングイメージを作成できるソフトウェアも市場に出始めている。

このような最新型の測量機器やソフトウェアは、生産性向上に非常に有効と考えられるが、初期コストが高いため、中小建設企業単独における導入が困難となっている。

そこで、連携して、「自動追尾型」のトータルステーションやCIMコミュニケーションソフトを導入し、その操作方法や効果を共有することで更なる生産性の向上を図る。

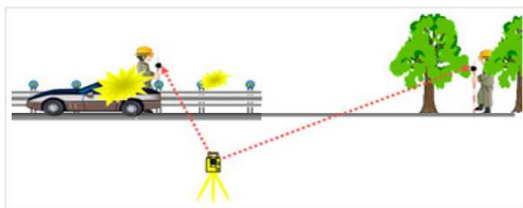
## <自動追尾型トータルステーション>

### 自動追尾型トータルステーションの新商品IS3のご案内

待望の自動追尾トータルステーションのニュータイプが発売となりました。

より自動追尾の性能が向上しています。

当社で、デモンストレーション受け付けております。ご希望の方は、お問い合わせより、宜しくお願い申し上げます。



三次元測量 実施状況

## <CIMコミュニケーションソフトウェア>

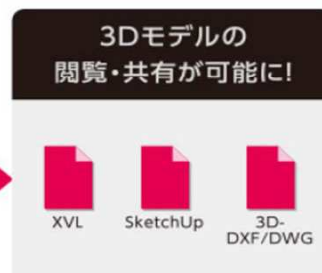
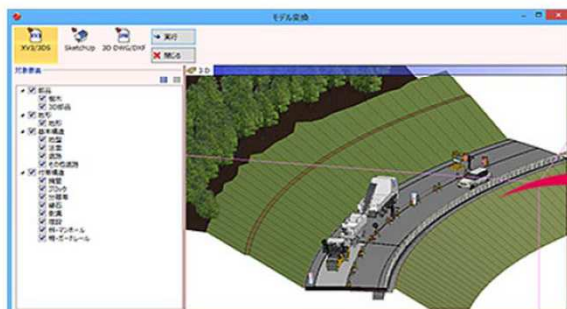
### 高品質なレンダリング

3Dモデルの高品質なレンダリングイメージ作成が可能です。



### 3Dモデルのエクスポート

3Dモデルは「XVL」「SketchUp」「3D-DXF/DWG」ファイルに出力できます。3Dモデルの閲覧・共有が可能になります。



### (3) 三次元プリンタについて

三次元プリンタは、昨今急速に高品質化・低価格化が進み、土木分野における有効活用の期待が非常に高まっている。

本事業においては、マルチコプターによる空撮測量や三次元測量により取得した三次元座標を、CIMコミュニケーションソフトウェア等を用いて三次元モデル化し、三次元プリンタから出力することで工事現場を丸ごと模型化し、正確な立体形状の把握や施工時間・資材量の正確な算出を可能とする。

また、施工現場において、模型化した車両や人を動かしながら、効率的かつ確実な作業指示や安全教育に資するシステムの開発を想定している。

<CIMコミュニケーションソフトウェアと三次元プリンタ出力の組合せイメージ>

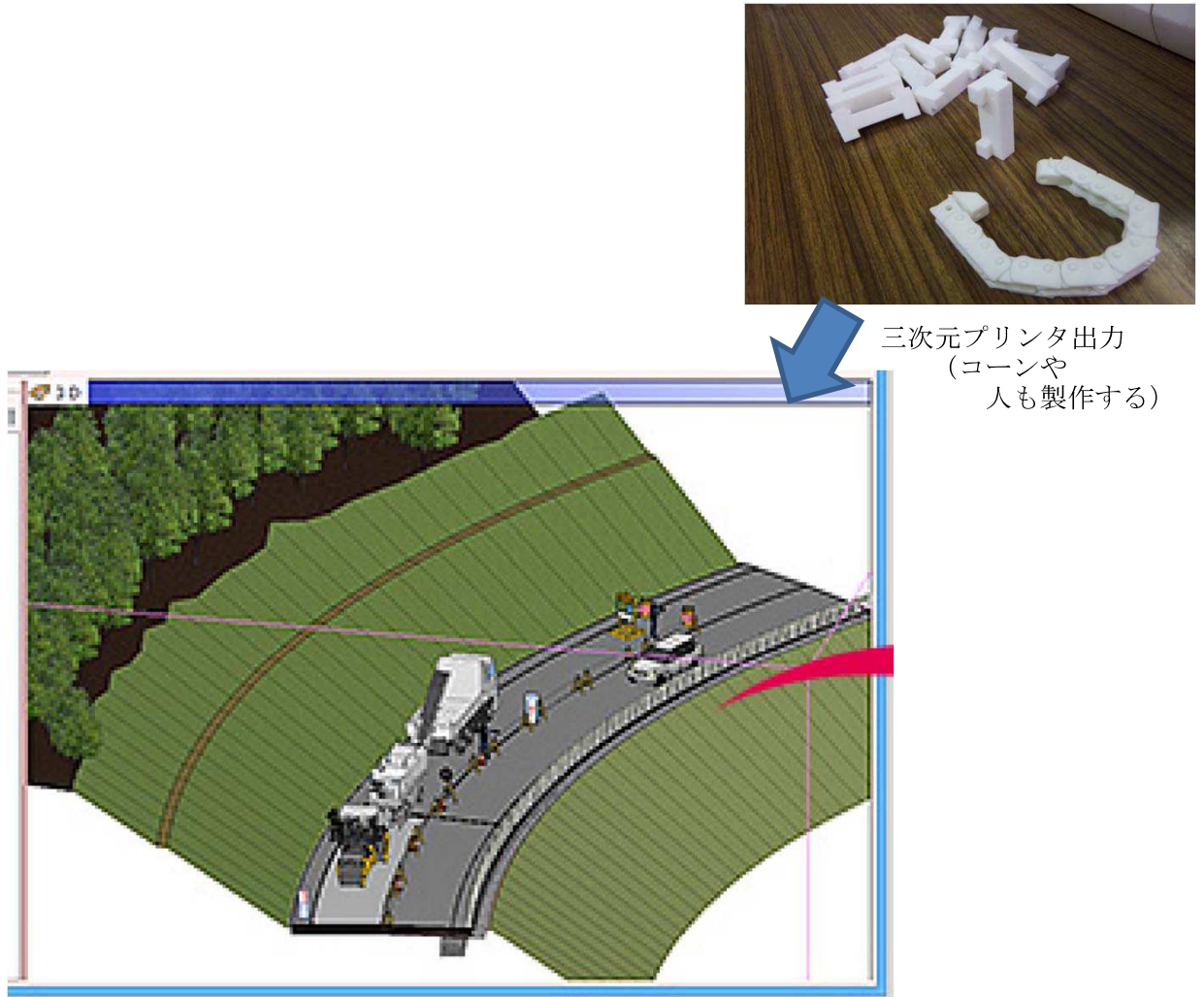


図 CIMコミュニケーションソフトウェア→三次元プリンタで出力する

## 2. 新資材

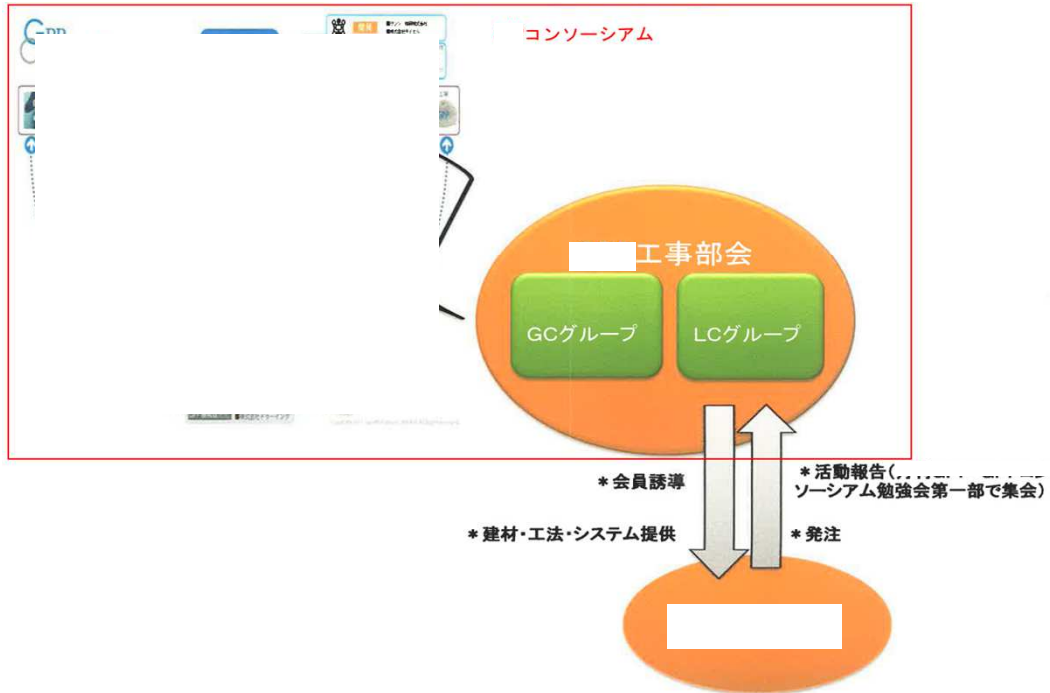
### について

近年、環境意識の高まりから、古紙の回収・リサイクルが進んでおり、古紙の再生紙が利用される機会が増えています。再生紙は、資源の節約と環境負荷の軽減に貢献しています。

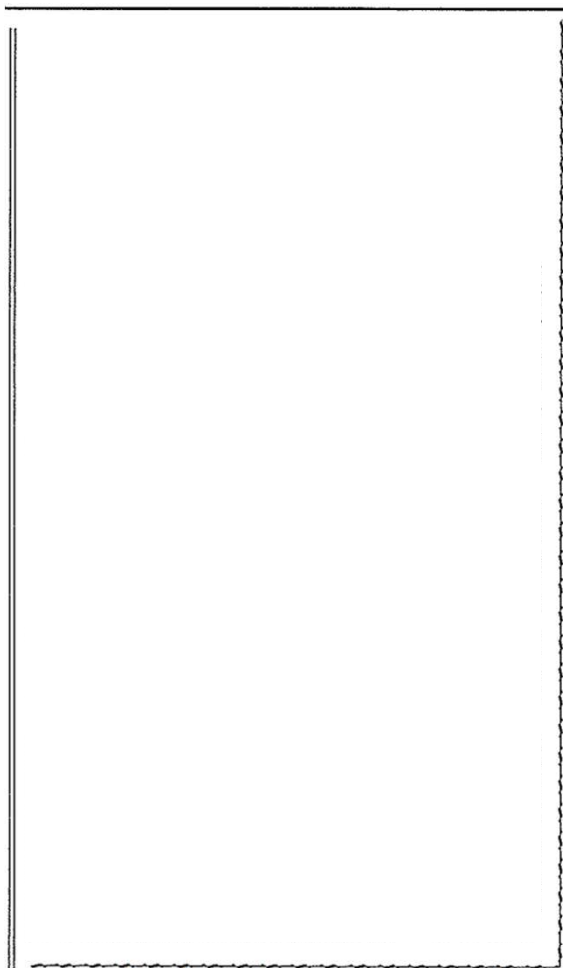


肩

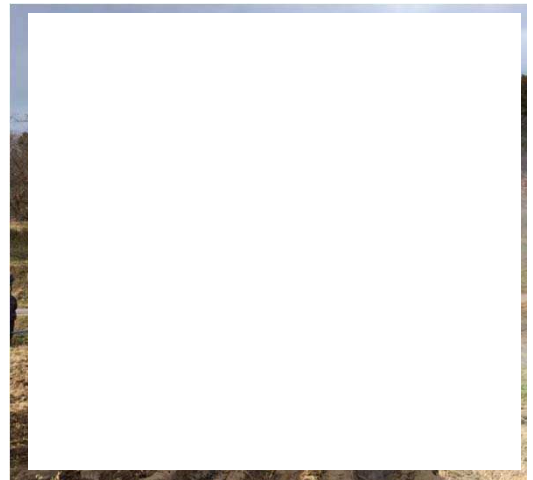
り開発は、30社以上が加盟する「**コンソーシアム**」にて行われており、**は** 建材・工法・システムの供給を受けるなど、**（**「**コンソーシアム**と協力関係にある。



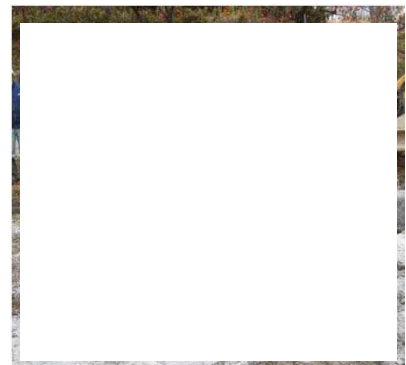
特に、**は**、**は**、**」**を**」**では初導入し、同社近くの**」**を  
 利用して現場見学会を開催するなど、積極的な販路拡大に努めている。



(建設新聞社 平成26年12月19日 記事)



施工状況



ユーン指数測定状況

新材料**は**、今後益々の需要が見込めることから、**」**が連携して上記技術の勉強会を開催することで、**」**連携体3社がスムーズに販路拡大できるようにし、生産性の向上を図る。



### 3. 広域ネットワーク化

#### (1) 既存組織 について

全国規模の**既存**ネットワークとして、「**全国有機エレクトロニクス協会**」がある。  
協会には全国「**エレクトロニクス協会**」から**〇〇\***が加盟しており、

- ・人材交流、育成
- ・新しいマテリアルの開発
- ・新規事業開発

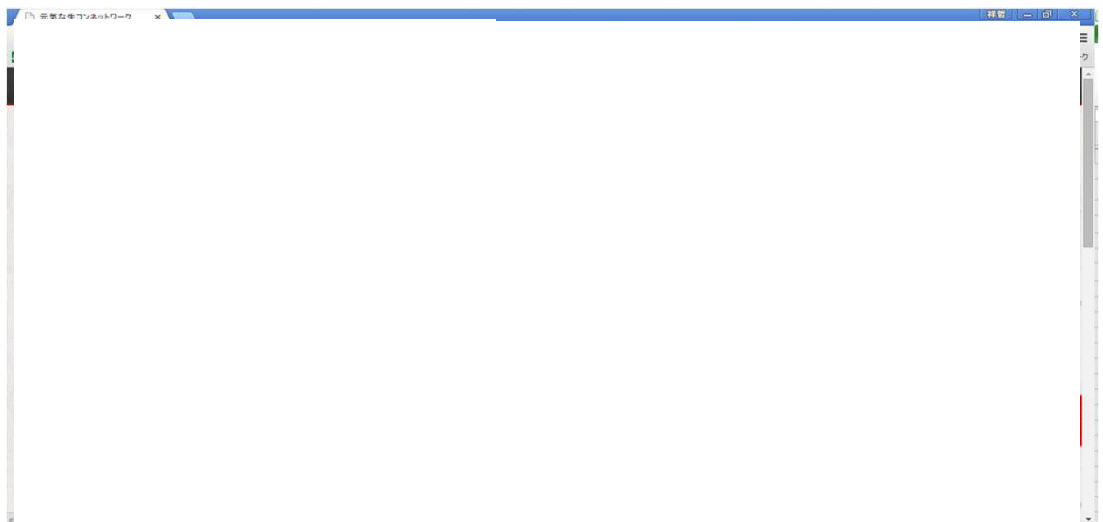
・国内外研修、視察、展示会参加  
など、幅広く活動している。



新しい  
マテリアル  
の開発

新規  
事業  
開発

(「**〇〇**」パンフレット)



は、ネットワーク化による生産性向上により、高い技術力や組織力、収益力を確保するに至り、現在ではゼネコン、大学教授も注目・協力するなど、業界（土木市場）において高い存在感を示している。

技術発表会の様子>



基調講演



< の様子（中小企業新聞：「<https://www.yo>」） >



(<https://www.yo>)



なお、 の情報共有は、「クラウド型グループウェア」を利用して効率的かつリアルタイムに行うことを予定している。

## デスクネッツ ネオ 25のアプリケーション



(グループウェアの機能〔例〕)

#### 4. 策定する計画の実現可能性

※実現可能な取組であることを理由を述べながら記入してください。

##### 【1.情報化施工、新技術】

「(株)〇〇」が〇〇で行われた同技術を競う「〇〇」における〇〇、に協力しており、マルチコプターによる空撮測量は同チームからの技術提供により可能である。また、三次元測量や三次元プリンタ出力は「〇〇」での実績があり可能である。

##### 【2.新資材】

「〇〇」は〇〇を〇〇で初導入しており、展開が可能である。

##### 【3.中小企業の広域ネットワーク化】

〇〇は平成27年4月14日に〇〇全国規模の〇〇が協力を確約。〇〇が可能である。

##### 【4.繁閑調整】

〇〇の(〇〇)の間で、繁閑調整をしている実績があり可能である。

##### 【5.人材交流】

定期的な〇〇勉強会やFacebook、グループウェア等を介した情報交換により可能である。

##### 【6.資材等の共同購入・在庫調整】

定期的な〇〇勉強会やFacebook、グループウェア等を介した情報交換により可能である。

#### 5. モデル性

※他の地域や事業者が模範にできる取組であることを理由を述べながら記入してください。

3社の取組みを成功させることによって、全国の中小土木企業に成功事例として、提唱することができる。1社では不可能でも複数の企業が経営資源を持ち寄り、連携することで新規事業を立ち上げることができるモデル性の高い事業である。

事業目標・実施スケジュール

●連携体名:

\_\_\_\_\_

■目標

	応募時 (応募時に限り、今までの取り組み実績をご記入下さい) ( 27 年 6 月)	平成27年度末時 ( 28 年 3 月)	事業終了 1年後 ( 29 年 3 月)	事業終了 2年後 ( 30 年 3 月)
本事業の売上高 (単位:千円)	0千円	5,000千円	10,000千円	20,000千円
本事業の営業利益 (単位:千円)	0千円	500千円	1,000千円	2,000千円
目標				
目標達成に資する取り組み内容				
目標達成に資する課題				
課題に資する対応策				

■実施スケジュール

実施項目・進捗段階等	27年度												28年度												29年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
【1.情報化施工、新技術】																																				
・必要な機器、ソフトウェア																																				
・勉強会																																				
・情報化施工																																				
・CIMソフトウェアと3Dプリンタを組合																																				
【2.新資材】																																				
・勉強会																																				
・導入実績、開発検討																																				
【3.中小企業の広域ネットワーク化】																																				
・広域ネットワーク化																																				
【4.繁閑調整】																																				
・繁閑調整																																				
【5.人材交流】																																				
・教育、雇用の安定化																																				
【6.資材等の共同購入・在庫調整】																																				
・在庫調整																																				
・共同購入																																				

注)必要に応じて、行の追加等してください。

## 資金計画について

## 1. 平成27年度から3年間の資金計画について

(金額単位：千円)

3年間の総事業費	8,000	千円
うち自己資金額	5,000	千円
うち借入金額	0	千円
うちステップアップ支援による経費支援額	3,000	千円
うちその他の額（ステップアップ支援を除く、その他助成金等）	0	千円

## 2. 平成27年度の1年間の資金計画について(契約日～平成28年3月31日)

## ①支援を申請する事業費（支援希望額）の内訳

(金額単位：千円)

経費区分	事業に要する経費 (消費税込み)	内 訳 (内容・目的・積算内訳)
事業費	委員・専門家謝金	350
	委員・専門家旅費	
	職員旅費	1,166
	会場借料	
	会議費	
	研修会等参加費	
	アルバイト雇用費	
	レンタル・リース料	765
	調査・研究等委託費	486
	試行的実施費	
	印刷製本費	
	資料購入費	
	通信運搬費	
消耗品費		
A 小 計	2,767	
B 一般管理費	233	
C 合 計 (A+B)	3,000	







地域建設産業活性化支援事業における  
ステップアップ支援申請に関する覚書

(一財)建設業振興基金からの支援による「地域建設産業活性化支援事業に係るステップアップ支援」の対象に申請する事業について、事業を行う連携体を構成する株式会社 [REDACTED] の3社は以下の覚書を締結する。

(目的)

第1条 当連携体は「地域建設産業活性化支援事業に係るステップアップ支援」の対象に申請する事業の実施にあたり共同連帯して営むことを目的とする。

(責任)

第2条 連携体構成員は、本事業推進、及び「(一財)建設業振興基金よりの支援金の使途、精算等」について、共同の責任を負うものとする。

(事業管理者)

第3条 当連携体は、株式会社 [REDACTED] を代表者（以下「事業管理者」という。）とする。事業管理者は、(一財)建設業振興基金との契約、金銭の授受、事務等の一切を代表して行う。

(事業期間)

第4条 契約日～平成28年3月末まで

(参加企業の追加)

第5条 連携体構成員の追加は連携体構成員の協議の上、追加できるものとする。

(協議)

第6条 本覚書に定めのない事項は、連携体構成員で協議の上、定めるものとする。

以上、覚書の成立を証するため、本書を3通作成し、各自記名捺印の上、各一通を保有する。また、その写しを(一財)建設業振興基金へ提出する。

平成27年6月15日

(事業管理者)

(その他構成員)